

## 幸手市人口問題対策会議（第4回）

～ 幸手市の人口減少問題に係る意見交換会 ～

【と き】平成26年10月21日（火）

【場 所】幸手市役所本庁舎3階第2委員会室

【出席者】別紙名簿のとおり

公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会埼玉支部幸手ブロックの役員の皆様と人口減少問題について意見交換を行いました。

意見交換の内容は以下のとおりです。

## 【質問（宅建）】

人口を増やすための条件として、交通、自然、教育、医療、ショッピング等の環境を整えることが挙げられる。

幸手市は、ショッピング環境は揃っていると感じるが、医療環境は？

## 【回答、意見】

- ◆ 市内には東埼玉病院、近隣には、済生会栗橋病院、久喜総合病院の二次的、三次的に近い医療については大変恵まれているところではあると思うが、一次的医療を担う医師の高齢化が今後進むと思われる。

## 【質問（宅建）】

交通環境はどうか？幸手の駅舎が寂しい感じがするのだが？

## 【回答、意見】

- ◆ 駅舎については、現在、橋上化を進め、平成29年度に新駅舎及び西口開設を予定している。これにより人の行き来にも影響を与え、久喜市へのアクセスも良くなることから地域の活性化につながることを期待している。  
また、圏央道幸手ICが平成26年度に開通予定であり、今後、産業団地が整備されることなどを考えると、幸手市は平成30年頃からその効果が表れてくるのではないかと考えている。

## 【質問（市）】

今後、駅舎や道路、産業団地等が整備され、雇用の拡大や地域の活性化が期待されるなかで、実際に土地や建物の販売等を行っている皆様から、市に望むことは？

## 【回答、意見】

- ◆ 初めて幸手に来て戸建てをかう人や賃貸する人たちは、若い人が多い。そのような人たちが受けられるサービスの実施や子育てしやすい環境づくりが必要だと思う。（若い人たちを引き止める対策）

- ◆ 開発に関する手続きに時間がかかりすぎる。県との調整等もあるかと思うが、矛盾をなくし、もっと私たちとコンタクトをとっていただき、スムーズに行うことができれば、人口も早く増えてくるのではないかと思う。

産業団地が整備されれば、雇用者の定住も見込まれるが、もう少し規模の小さい工業団地（中小企業をターゲットとした）の整備も必要ではないか。

- ◆ 教育環境の整備が重要なのではないかと思う。独自の教育政策を行うことで、幸手をPRし、子育て世代を呼び込めるのではないか。

（例）子どもが小学校6年生までに英語がペラペラに話せるまち

※一日30分、毎日、英語に触れ合う時間をつくることによって、話せるようになるというもの。

- ◆ まちの教育のレベルが高いということは、子育て世代にとっては魅力であり、定住を考える際の大きな要因だと思う。

#### 【質問（市）】

市職員（子育て中の若手職員）を集めて、話しあう機会があり、その中の意見で、幸手駅の周辺に新婚さんが入るようなアパートがないというのがあったが、実際にそうなのか？

#### 【回答、意見】

- ◆ アパート自体はあると思う。しかしながら、新婚向きの間取りになっていない場合がある。また、アパート建築の際の収支の問題もある。（春日部市で建てる場合と幸手市で建てる場合で建築費が変わらなければ、春日部市に建てるだろうということ）
- ◆ 資料に20歳～39歳の女性の減少率が大きいとあるが、これを食い止めるために、20歳～39歳の女性をターゲットとした政策を考えていく必要があるのではないか？

#### 【質問（市）】

住宅が売れる条件としては？

#### 【回答、意見】

- ◆ 道路が整備されているのは大きな要因となる。道路が広がるだけで、人の意識は違ってくる。

#### 【質問（宅建）】

農地転用について市としてどのように考えているのか？

#### 【回答、意見】

- ◆ 国や県の規制があり、なかなか皆様のご要望に応えることができないことを、ご理解をいただきたい。

#### 【質問（宅建）】

幸手市の市街化区域率が他市町村に比べ少ないのでは？

#### 【回答、意見】

- ◆ 現在の市街化区域（まちなか）の人口密度が少ないため、まずはその対策を行わないと、新たな市街化区域を増やすということは難しい。
- ◆ 市街化区域内のインフラを整備することが重要だと思う。
- ◆ 駅周辺の未利用地の活用について、企業等の力を活用して（協働により）前向きに検討すべきである。知恵を絞り、できることからやっていくことが大切である。

【質問（宅建）】

他市町村では、空き家に対して固定資産税を減免しないという動きがあると聞いたが、幸手市ではどうか？

【回答、意見】

◆ 幸手市では行っていない。しかし、この空き家の対策は喫緊の課題として捉えており、先日、条例を制定したところである。税については、国の税制改正等を注視しながら対応を考えていきたい。

【質問（宅建）】

空き家の対策について、空き家のデータはあるのか？

【回答、意見】

◆ 現在、市内に約300軒あり、そのうち30～40軒が管理不全のものである。  
今後、空き家の利活用、空き家バンクなどの空き家対策を考えていくうえで、皆様のお知恵をお借りしたい（事例紹介等）。

【質問（市）】

圏央道幸手ICの開通、産業団地の整備のほか、幸手駅舎が橋上化し、自由通路ができて東西口がつながることは、幸手市としての価値観として多少なりとも上がる（イメージアップ）と考えるが、いかがか？

【回答、意見】

◆ 交通の便が良くなること、人の行き来が出来るようになることは、市民の利便性が良くなるということであり、マイナスになることはないと思う。  
◆ 駅舎が新しくなることは良いことだが、今の駅舎も歴史があり、新駅舎もあえてレトロ的なつくりにしてみてもいいのでは。

【自由意見】

◆ 定住促進策を考える時は、事あるごとに手当（お金）を支給するという政策にたよることなく、基盤の整備の充実に力を入れてほしい。  
◆ 幸手市の住宅地の坪単価は約18万円で、幸手市と同じ首都圏から45キロ圏の他市町村に比べて極端に安い。しかしながら、5つ環境（交通、自然、教育、医療、ショッピング）の整備（ターゲットを絞っても良い）を徹底して行うことで、これを打開することはできると思う。  
◆ 現在、幸手市は納税率のアップ率が3年続けて県内1位、2位、1位であり、住む人も、まち自体も強い幸手にしていきたいと考えている。（市長）

今回の意見交換された内容については、今後の人口減少対策の検討に活かしていくものとします。

また、今後も継続的に、様々な方々と意見交換を行い、人口減少問題について考えて行きます。